

## 令和2年度第2回豊山町地域公共交通会議議事録（要旨）

1 開催日時 令和2年11月11日（水）10時00分～11時00分

2 開催場所 豊山町役場3階 会議室3

### 3 出席者

#### （1）豊山町地域公共交通会議委員出席者

豊山町長	服部 正樹
あおい交通株式会社代表取締役社長	松浦 秀則
名鉄バス株式会社運行本部運行部運行課長	吉岡 実
名古屋市交通局営業本部自動車部管理課主幹	中根 純
公益社団法人愛知県バス協会専務理事 (代理 事務局長)	小林 裕之
豊山町老人クラブ連合会元地区役員	成田 重男
豊山町心身障害者福祉協会役員	伊藤 千歳
中部運輸局愛知運輸支局首席運輸企画専門官	河村 君枝
あおい交通株式会社運行課長	鈴木 隆史
西枇杷島警察署交通課警部補	工藤 彰郎
愛知県都市整備局交通対策課担当課長	藪内 大輔
名古屋大学大学院環境学研究科附属持続的共 発展教育研究センター教授	澤木 徹
名古屋市住宅都市局都市計画部交通企画課長 (代理 主査)	加藤 博和
三菱重工業株式会社名古屋航空宇宙システム 製作所総務法務部名古屋総務グループ 渉外担当課長	藤井 由佳
小牧市都市政策部都市政策課長	内藤 清和
豊山町産業建設部長	小形 浩
	川島 充裕
	堀尾 政美

18名中16名出席

#### （2）豊山町地域公共交通会議委員欠席者

愛知県尾張建設事務所維持管理課長	増岡 浩仁
名古屋タクシー協会専務理事	多田 直紀

#### （3）事務局

豊山町理事	田上 健治
豊山町産業建設部産業・都市政策課長	中川 徹
豊山町産業建設部産業・都市政策課主事	浅野 裕也

## 4 議 題

### 報告事項

- (1) 本町における地域公共交通の現況について
- (2) 小牧市民病院施設整備に伴うタウンバス運行ルートの変更について

### 協議事項

- (1) 豊山町の公共交通崩壊を食い止めるための緊急アピールについて
- (2) 豊山町公共交通マップの変更について

### その他

- (1) 名古屋大学大学院による中学生を対象としたアンケート調査について
- (2) 愛知県広域防災拠点整備について

## 5 会議資料

- 資料1 本町における地域公共交通の現況について
- 資料2 小牧市民病院施設整備に伴うタウンバス運行ルートの変更について
- 資料3 豊山町の公共交通崩壊を食い止めるための緊急アピールについて
- 資料4 豊山町公共交通マップの変更について
- 資料 名古屋大学大学院による中学生を対象としたアンケート調査について
- 資料 愛知県広域防災拠点整備について

## 6 議事内容

(開 会)

司会(課長)： 定刻となりましたので、令和2年度第2回豊山町地域公共交通会議を開催します。それでは、本会議の会長でもあります、服部正樹町長より、ごあいさつ申し上げます。町長よろしく申し上げます。

(町長あいさつ)

町長： 本日は、大変お忙しい中、令和2年度第2回豊山町地域公共交通会議に御出席いただき、誠にありがとうございます。

日頃から、本町の公共交通施策をはじめ、行政各般にわたり、御理解や御支援をいただいております。この場をお借りして厚く感謝申し上げます。新型コロナウイルスによる影響は多方面で非常に大きく、本町の公共交通環境にも大きく影響を及ぼしております。現在、諸外国においてロックダウンする都市も出てきており、また、日本でもこれから寒くなるにつれて感染の拡大が予測されます。見通しもつかない中、今後の影響にも不安もありますが、しっかりと三密への対策を徹底することで、感染拡大を防止していくことが重要であります。

また、来年度本町の財政はコロナ禍による減収が見込まれており、厳しい状況となりますが、来年には新型コロナウイルスのワクチンや治療薬ができ経済も徐々に回復し平常に戻ってほしいと願っています。

さて、本日の議題としましては、報告事項2点と協議事項2点です。まず、報告事項として、「本町における地域公共交通の現況について」、「小牧市民病院施設整備に伴うタウンバスルートの変更について」でございます。また、協議事項としましては、「豊山町の公共交通崩壊を食い止めるための緊急アピールについて」、「豊山町公共交通マップの変更について」でございます。安全で利便性の高い地域公共交通ネットワークを形成するため、委員の皆様活発な議論や意見交換が行われることをお願い申し上げ、私からのあいさつとさせていただきます。

本日はよろしくお願いたします。

司会（課長）： 本来ですと4月の人事異動等で新たに委員をお願いした方を第1回の会議にてご紹介するべきでしたが、書面開催となりましたので、あたらめて今回お手元の「令和2年度第2回豊山町地域公共交通会議名簿」をもちまして、ご紹介に代えさせていただきます。新たに委員になられた皆さまには、お席にあらかじめ委嘱状を置かせていただいておりますので、ご確認ください。よろしくお願いたします。

本日は、尾張建設事務所の増岡様、名古屋タクシー協会の多田様におかれましては、ご欠席との連絡をいただいております。また、愛知県バス協会の小林様の代理としまして成田様、名古屋市住宅都市局の藤井様の代理としまして内藤様にご出席いただいておりますことをご報告申し上げます。

(資料の確認)

司会（課長）： それでは本日の資料のご確認をお願いいたします。

- ① 次第
- ② 名簿
- ③ 配席図
- ④ 資料 1 本町における地域公共交通の現況について
- ⑤ 資料 2 小牧市民病院施設整備に伴うタウンバス運行ルートの変更について
- ⑥ 資料 3 豊山町の公共交通崩壊を食い止めるための緊急アピールについて
- ⑦ 資料 4 豊山町公共交通マップの変更について
- ⑧ 資料 名古屋大学大学院による中学生を対象としたアンケート調査について
- ⑨ 資料 愛知県広域防災拠点整備について

司会（課長）： ありがとうございます。資料に不足などがありましたら、担当が資料をお持ちしますので挙手にてお知らせ願います。

(会議公開)

司会（課長）： また、本会議は豊山町地域公共交通会議設置要綱の第 5 条第 5 項に、会議は、原則として公開するとございます。会議の議事録などについて、本町のホームページ等で公開させていただきますので、ご承知おきいただきますようお願いいたします。

(会議成立の確認)

司会（課長）： 本日の会議は、委員の 2 分の 1 以上の方に出席いただいておりますので、設置要綱第 5 条第 2 項の規定により会議は成立しています。では、議題に入ります。設置要綱第 5 条第 4 項に会議の議長は、会長がこれにあたりとありますので、以後の進行につきまして、会長よろしくをお願いいたします。

(報告事項)

会長： それでは議事を進めさせていただきます。はじめに報告事項がございます。事務局から一括して報告させます。

司会（課長）： （資料1に基づき説明）

また、こういったコロナ禍の状況の中、お客様に安心安全にお乗りいただけるよう各バス事業者様が行っていらっしゃるコロナ対策について前回の書面会議の資料にもお付けしましたが、改めてお話いただければと思います。

A 委員： あおい交通です。日ごろは弊社のバスをご利用いただきありがとうございます。

感染対策としましてバスのほうでは、飛沫防止のため、運転席の後ろにビニールシートを設置しております。乗務員にはマスク着用を義務付け、検温・消毒を実施しております。その他に、走行中は窓を開けて運転すること、折り返し時間で車内の消毒をおこなっており、車内には消毒液を常備しております。

その他に、お客様にはあまり強くは言えないですが、マスクの着用をお願い及び、マスク着用をお願いの掲示物を掲示しております。

A 委員： 名鉄バスです。日ごろは当社の公共交通に対してご理解をいただきこの場をお借りして御礼申し上げます。

コロナ禍での弊社の状況についてお話をさせていただきます。緊急事態宣言後の4月、5月におきまして前年の35%まで落ち込んだ時期もございました。今月に入りましてようやく状況も回復してきて、前年比65%、全線においてですが、前年比75～80%にどうしても届かないといった状況となっております。大学や企業のWEB化の影響も受けていると考えられます。状況としてはなかなか元に戻らないといった状況となっております。

コロナの感染対策としては、乗務員に出勤前に検温させ、支障があると判断した場合は勤務に就かせない措置をとるなどしております。マスクの着用を義務付け、勤務中にかかわらず、手指の消毒は徹底させております。

車両につきましては運行終了時に車内の消毒を定期的におこなっております。走行中におきましては換気扇の使用、一部の窓を開けて走行し、絶えず空気の流れを作って換気しております。

バス停停車時には前後のドアを開けて絶えず空気が入れ替わるようにしております。それと運転席と通路の間に飛沫防止のビニールカーテンを設置し、感染予防をしております。感染防止対策を徹底して実行しておりますので、ぜひご安心いただきバスのご利用をしていただきたいと思っております。

C 委員： 名古屋市交通局です。この4月より、前任者加藤より交代いたしまして委員を務めさせていただいております。日ごろは地下鉄あるいは市バスにご理解ご協力をいただき、この場をお借りして御礼申し上げます。市営バスの状況に対してお話をさせていただきます。

ご利用の状況につきましても、4月、5月の緊急事態宣言中が、5割から6割減となっております。私どもは通勤通学時にご利用いただくことも多いですが、それでもなお平日は、-20%くらい、土日は-30~40%くらい、平日でも夜間は3割4割少ない状況が続いております。

感染防止に向けた取り組みとしては、乗務員のマスクの着用は1月30日ごろから全員に義務付けまして、その後運転席周りにビニールシートの設置、前方の座席シートのご利用をお控えいただくような対応をまいりましたが、この前方の座席につきましては10月下旬以降につきましてはご利用いただけるようになっております。

それ以外には車両の清掃の際には消毒の徹底をするなどしております。運行に関しまして、夜間のご利用が非常に少ないという状況も踏まえまして、春の緊急事態宣言時には、深夜バス及び金曜祝前日に限って行っております終バスの延長も一部バスで行っておりますが、こちらにつきましては運休いたしました。その後緊急事態宣言が解除されるのに伴いまして、再開いたしました。8月の第2波の影響を踏まえまして運休をし、現在も運休しております。

司会（課長）： 各バス事業者様の取り組みにつきましては改めて、豊山町広報にてご紹介をさせていただく予定となっております。

司会（課長）： （資料2に基づき説明）

会長： ただいまの報告について、委員の皆様からご質問などはありますでしょうか。

D 委 員： 小牧市です。報告事項に関しまして小牧市から2点ご報告させていただきます。まず、市民病院の現在の工事状況につきましてですが、すでに新病棟は開業しておりまして、旧病棟解体もおおむね完了したところであります。現在、12月1日の南ロータリー供用開始に向けて、整備を進めているところです。南ロータリー供用開始に合わせて、これまで東ロータリー供用開始時においてこまき巡回バスのデジタルサイネージを設置しておりましたが、この度豊山町様と名鉄バス様にご協力いただきまして、そちらもデジタルサイネージに表示できるよう準備をしております。市民病院ご利用のお客様の利便性の向上が図れるのではないかと考えております。

もう一点、南ロータリーの供用開始に合わせて、こまき巡回バスの再編を予定しております。現在19路線のところ4路線増やしまして、23路線となります。また愛称を募集いたしまして、「こまくる」に決定いたしました。こちらは「こまのようにくるくると回る」、「小牧に来てほしい」という意味合いを含めまして決定いたしました。この愛称を使用し、親しみと愛着を持ってご利用いただけるよう今後利用促進に努めてまいります。

副 会 長： 小牧市民病院に小牧市におけるバスの路線（こまき巡回バス、とよやまタウンバス、名鉄バス）すべてが集約されるという理解でよろしいでしょうか。

D 委 員： 現在東ロータリーにこまき巡回バス、とよやまタウンバス、タクシーが乗り入れしておりますが、南ロータリー供用開始に伴いまして、こまき巡回バス、とよやまタウンバス、タクシー、名鉄バスの公共交通が乗り入れをすることとしております。

副 会 長： 乗車は何ブースで、降車は何ブースありますか。

D 委 員： こまき巡回バス・とよやまタウンバスの乗降車は同じ場所になります。名鉄バス様の降車は単独、タクシーは1箇所専用乗車場所を設けておりますので、乗車に関しましては3ブース、降車に関しましてはこまき巡回バスととよやまタウンバスはもう一か所ブースを設けております。すべて含めて4ブースになります。

(協議事項)

会 長： 他はよろしいですか。次に、協議事項に移ります。  
(1) 豊山町の公共交通崩壊を食い止めるための緊急アピールについて、事務局から説明させます。

司会（課長）：※ 資料3に基づき説明

会 長： ただいまの説明について、委員の皆様からご意見やご質問はありますでしょうか。よろしいでしょうか。豊山町の公共交通崩壊を食い止めるための緊急アピールについて、原案どおりとさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

副 会 長： 緊急アピールを採択して、何をすることが大事になります。4、5月の公共交通会議の委員を務めている自治体は中止になるか、書面会議になっておりました、豊山町もそうなったと。6月以降にちよつとづつ対面会議も出てきて、今はほぼ現状に戻りつつあります。

そういったところで、こういった緊急アピールを出していくということはどのようなことかと。現在、公共交通機関は減便もせず通常運行で前年の3割程に減っているのに、休業もしていないので、雇用調整助成金とかの補助金も利用できるわけでもない状態で運営しているのがほとんど知られていない。

ましてや公共交通を利用していてコロナが発生したかということと最初、コロナに対する知識がなかった状態では少し感染者が出たみたいですが、最近では誰もでていないという状況を考えた時に、もちろん目的場所に行った際に感染リスクがあるので、利用者が2割減ってしまうということはあるかもしれませんが、公共交通が危険だからというので利用を控えるのであれば、もっと出てきてもらってもいいんじゃないですかと、怖いから車に乗るとかではなくて、電車とかバスに乗ってもらっても危なくないですよということを言うために緊急アピールを出してさらに、対策もやってみましょうねということを行っています。

他の自治体では、新聞さんとかテレビさんとかに取り上げていただいているんですね。なんかこれをうまくアピールしていくことが大事だと考えていますが、豊山町さんは何を考えていますか。



事務局（理事）： 緊急アピールにつきましては、近隣では田原市や東浦町でされているという状況でして、豊山町におきましてもバスが主要な公共交通機関でありますので、この緊急アピールをご採択いただいた後は、行政として、これを広く広報していきたいと考えています。具体的に申し上げますと、私共は、町内の皆様に広報誌を配っておりますので、そちらで特集を組みましてバス事業者様の取組のご紹介や、HPにも同じようにご紹介をさせていただく予定です。

もう一つは、町内の方がご視聴いただけるケーブルテレビにて専用のチャンネル「とよやまみんなのチャンネル」がございますので、そちらにバス事業者様にご協力いただきまして、バスを安心安全に乗っていただけますよという内容の特集を12月1日より放送予定としております。

このような取り組みをし、町民の皆様に安心安全にバスをご利用いただけるを広報してまいりたいと考えております。

会 長： 次に、協議事項（2）豊山町公共交通マップの変更について、事務局から説明させます。

事務局（主事）： ※ 資料4に基づき説明

会 長： ただいまの説明について、委員の皆様からご意見やご質問はありますでしょうか。

副 会 長： 皆さん最初にマップを開いたときにどこを見ますか。私は先一枚開いたところを見ますが、今は運賃が来ております。最初に運賃が最初に来るということはまずないと思いますので運賃はもう少し中のほうに入れて、現在各方面へのアクセス文字ばかり書いているところをもう少し絵を交えて作成してみてもどうかと思います。いずれにせよ原則は、開いていってだんだん情報が細かくなっていくというレイアウトにしていくといいと思います。

会 長： それでは、豊山町公共交通マップの変更については、副会長や皆様のご意見を踏まえまして、修正させていただきます。以上で、本日予定しておりました報告事項、協議事項のすべてを終えることができました。ご協力ありがとうございました。それでは、事務局にお返しします。

司会（課長）： ありがとうございます。それでは最後に、5の「その他」に入ります。

（1）名古屋大学大学院による中学生を対象としたアンケートについてです。本町は名古屋大学との連携協定を締結しておりまして、その協定に基づき行われた名古屋大学大学院の学生による「公共交通意識調査」対象は豊山中学校生徒及びその保護者となりますがに協力いたしました。アンケートの目的は、生徒がおでかけするときの移動手段についてどのような理由で選んでいるのかを明らかにし、他市町村の抱える地域公共交通と比較し分析するものです。集計・分析結果は、本町における公共交通計画等に生かしていきたいと考えています。

副会長： 私から補足があります。単純な理由ですが、このアンケート調査を行った理由が、本学院にイランから留学に来ている女性の学位論文の作成のために豊山町さんにご協力いただきました。豊山町の他に、南伊勢町、木曾町、3つの町にお願いをして、どれも関係の深い町になります。海のところ、山のところ、町のところでアンケートを取りました。

もちろん親御さんに左右されるところもありますが、子供というのは自分が好きなように色々なところに行くことができないというのが当たり前です。それでもやはり都会と、田舎では違いがでてくると思いますし、そもそも中学生は地域の交通のことをどのように思っているのかというのが今までそこに特化して調べてはこなかったんですが、彼女がイランから留学に来る際に、そういったことを日本で研究したいということでわざわざ留学に来たそうです。しかも、日本語はまだほとんど話せない。英語はすごい堪能ですが。

豊山町、教育委員会さんには大変お世話になっていきますので、せっかくこういったデータをとるのであれば、町の施策に反映していきたい。彼女が中学生を対象にしたいと言ったんですが、中学くらいで自分の意志で色々なところに動けるようになって、公共交通に理解をもってもらえるようになって、これからの将来が期待できるかもということもあるので、中学生の皆さんが何を考えているのかなといったところから考えていくのがいいのかな。すでに集計はできています。

これから彼女は分析をしていくので、それをもとに、またここで発表してもらったらいいと思います。英語でよろしければ。それを使って中学生にどのように働きかけたらもっと公共交通に関心を持って

らえるかというのを考えられるようにしたいと思っています。

一昨日ゼミがあって彼女の結果を見てましたが、面白い結果が出ていますし、また皆さんに見てもらえると思いますので、よろしく願いいたします。ご協力いただきありがとうございます。

事務局（理事）： 続きまして、（２）愛知県広域防災拠点についてご説明いたします。皆様新聞報道等でご存じかもしれませんが、愛知県が豊山町青山地区に、後方支援を担う新たな防災拠点の整備に向けて検討を進めていくということを発表いたしました。

こちらの施設は、大規模災害時に全国からの応援人員や物資等を受入れる機能などを備え、平常時には防災に関する教育・訓練施設、公園やグラウンド、屋内スポーツ施設などとして活用できるようにするものです。また、現在老朽化等に伴い、愛知県の消防学校、名古屋市の消防学校を集約・統合して新たな消防学校を建設することも検討されています。

青山地区にこのような施設が整備されることにより、町が活性化され、タウンバスのルート見直しや、また、名古屋市の施設が整備された場合、公共交通機関の確保などの検討が今後必要になってまいりますので、その際には委員の皆様にはご意見を賜りますよう何卒よろしくお願いいたします。

会 長： 今の説明がありました。愛知県が検討を進めています広域防災拠点はここ10年で整備がされていくと思います。豊山町が目まぐるしく変わっていき、その中に公共交通も含まれてくると思いますので、この場をお借りしていろいろなご意見や、ご審議を行っていただくことが出てくると思います。今後委員の皆様にはまたご協力をいただきまして、活発なご意見をいただき公共交通を充実させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

司会（課長）： その他委員の皆様からはよろしいでしょうか。ありがとうございました。以上をもちまして、令和2年度第2回豊山町地域公共交通会議を閉会いたします。ご協力、ありがとうございます。

（閉会）